

国際ロータリー第2620地区
静岡第5クラブ



POWER HAMAMATSU
ROTARY CLUB
JAPAN

週報 パワー浜松ロータリークラブ

親睦と奉仕の扉へ

RI 会長 ホルガー・クナーク/第 2620 地区がバナー 志田洪顯 /会長 中野敬司 /幹事 村田誠
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立: 2002 年 10 月 22 日 認証伝達式: 2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ: 浜松中 R C



Rotary

第851回例会5月11日(火)AM7:30~8:30

- 会場: オークラクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会: 安間利広 中野雄介
- 点鐘: 中野敬司
- 週報: 稲野清治
- ゲスト: ブリリアントパートナー 小山由稀様
米山記念奨学生 陳俊達さん

出席報告/スマイル報告

会員数 77 名 (内出席免除会員 1 名)
出席数 61 名 出席率 80.26%

スマイル: 2 件

会長挨拶

3 週間前、岐阜県に住む友人から連絡がありました。急用とはいえ、このコロナの状況下に県境をまたぐのは気が引けたので、不要な接触を少しでも減らそうと、車におにぎりとお菓子を積んで行ってきました。昼神温泉のある阿智村から妻籠宿のある南木曾町へ抜ける国道 256 号線は「ハナモモ街道」とよばれています。大正 11 年、福沢諭吉の娘婿がミュンヘンから 3 本の花桃の苗木を持ち帰りました。戦後に地域住民が、「地域を華やかに」とか、「過疎の村に嫁に来てくれた娘さんたちの慰めに」など、さまざまな思いから道路沿いや旅館の周りにずっと植林管理を続けたそうです。その甲斐あって、今では 10,000 本に及ぶといえます。一本の枝に、白、ピンク、赤の 3 種類の花が咲き、開花の期間が桜より長い為か、コロナ前までは年間 20 万人が訪れるまでになりました。現在では多くの住民の楽しみとして、また地域おこしの観光資源になっています。

この一連のヒストリーを知り、私はクラブが関わっている天浜線の花のリレープロジェクトや、防潮堤の松の植栽事業も、何十年か先に立派な成果に繋がっているのではないかと思います。

きれいな花桃を見た帰りに、かつて例会で土州先生が、「桜の花は最後の一輪が咲くのを待って散っていく」というお話をされた事を思い出しました。

季節を感じる事が少なくなりましたが、久しぶりに春を感じた時間でした。

幹事報告

- ① レターケースにロータリーの友 5 月号を配布しましたので、ご一読ください。
- ② 本日例会終了後に第 5 回予定者会議がありますので、関係者はお出席ください。
- ③ 来る 5 月 15 日(土)に花のリレープロジェクトの草刈りの作業があります。19 名の有志による奉仕活動です。当日は 8:45 までに集合をお願いします。

委員会報告

■ゴルフ同好会/熊谷幹事

6 月 6 日に今年度最後の青空例会を開催します。会長からの豪華な景品を予定しておりますので、たくさんのご参加をお願いします。

■陳俊達さん(奨学金授与)

入会して 1 カ月が経ちました。入会時は大変不安でしたが、みなさまから声を掛けていただき安心しました。これからもよろしくお願いします。

入会式

■新会員

鶴信雄(つるのぶお) 推薦者: 金山土洲
鶴泌尿器科クリニック院長

三島町で泌尿器科専門のクリニックを開業して、4 年経ちました。出身は福岡県で、浜松医大を卒業後、県内の病院で泌尿器のがん治療、腎移植に携わってきました。子供が 4 人いて、毎年こいのぼりの下で家族写真を撮って、子供の成長を見るのが楽しみです



スマイル報告

① 奥山会員 その 1

5 月 29・30 日にホテルコンコルド浜松にて「第 21 回日本早期認知症学会学術大会」が開催されます。暮らしの質の向上に向けた社会づくりを目標に「認知症の予防、早期発見と対応、共生社会」をかかげ、全国の方々とつながってまいります。

② 奥山会員 その 2

同日、認知症サポーター養成講座の講師をつとめてくださった山口晴保(はるやす)先生にご登壇いただき、学会の社会貢献活動として「無料市民公開講座」を開催させていただきます。

「パネルディスカッション:より魅力あるロータリーにするために」ファシリテータ/ブリリアントパートナー小山由稀様 担当部会: 会員維持増強委員会



本日は、「より魅力あるロータリーのために」というテーマでパネルディスカッションを行います。

「近者説 遠者来」という言葉があります。これは、近くにいる人たちが喜んだり、楽しんでいけば、それが噂となって遠くの人たちが集まってくるという意味です。パワー浜松をもっと楽しいものにすれば、遠くの人たちからも注目されることに繋がります。

さて、みなさまのお力を借りたいと思います。本日は席を年代別テーブルと女性専用テーブルに分けさせていただきました。テーブルレイアウトを変更することで意図的に環境の変化を作り、変化を望まない人間の脳を活性化するためです。

まずはパネルディスカッションに入る前に、全員で本テーマについて考えていきたいと思います。テーブルごとに模造紙と付箋を用意しました。

ロータリークラブの本来の目的は仕事で交流できる正直で信頼できる仲間を集めようだと伺っております。みなさまにとって、こんな要素があるといいな、こんなイベントがあるといいな、こんなことがあれば仲間を増やしていけるのにな等々みなさまにとってどんな会になっていけばいいかを、一人 1 枚以上書いて模造紙に貼って、テーブルごとにそれらをまとめて、その中から 1 つだけ提出してください。



各テーブルの意見です。

- 毎例会一人 3 分程度で自己紹介を兼ねて近況報告をする
- 会員同士の仕事上の応援、協力、理解が必要
- 人とつながる楽しさ
- 新人の意見の中にアイデアがある
- なにか行動する、交流できるものを作る
- お酒を飲みながら、ゆったりした宴会をする
- SNS を使って、広報力を強化する
- 誇れる奉仕活動をする
- サークル活動を増やす
- 会員の職業内容をもっと知る



■会長：中野敬司

本年度が始まる前にこのような会があれば、非常に参考になったと思います。今年度はあと 2 か月になってしまいましたので、次期、次々期の会長に期待します。

■会長エレクト：高貝亮

会長になる目前にこのような機会を作っていただき、ありがとうございます。

地区からのクラブ戦略計画策定の宿題ができていません。本日のみなさまの意見は奉仕活動が前提となる親睦基盤を作るものが多かったと感じます。色々な奉仕活動をする前提としてみなさんの協力を得る必要があります。そのためには会員相互の理解と親睦を深めていくことだと思います。まずはそれに向けて、クラブ戦略を進めていきたいと思っています。

■会長ノミニー：加藤ひとみ

現在コロナの影響で、会員同士が会えません。新入会員においてはお話もできていません。会員の交流、親睦が難しくなってきています。

私の年度でもコロナが終息していない可能性もあります。このような状況でも会員の交流ができる手段を考えていく必要があると感じました。